

**BricsCAD**®

操作ガイド

# 目次

ワークスペースの選択	3
新しい図面の作成	3
ユーザーインターフェース	4
操作方法	5
作図してみましょう	6

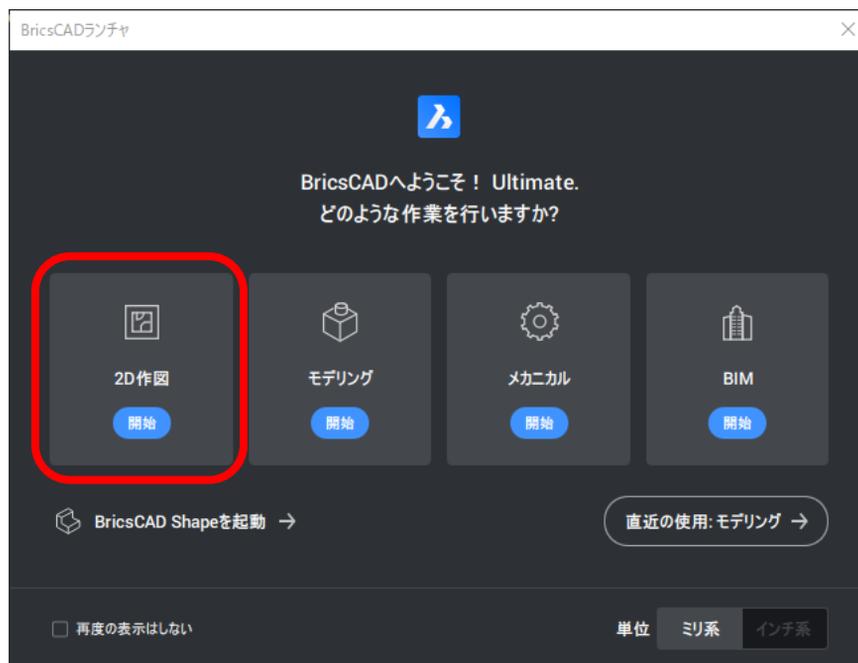
## ワークスペースの選択

BricsCADを起動すると、最初に「ワークスペース」の選択画面が表示されます。

BricsCADは多くの機能を搭載しているため、「ワークスペース」によって表示されるコマンドを切り替えていますので、ここで目的の作業を選択します。

今回は「2D作図」を選択します。

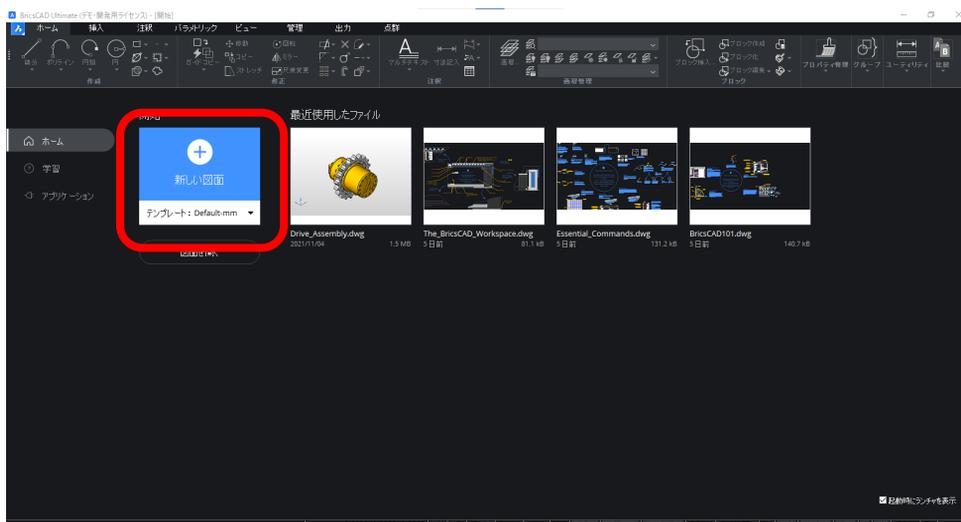
\* 作図中にワークスペースはいつでも切り替えられますのでご安心ください。



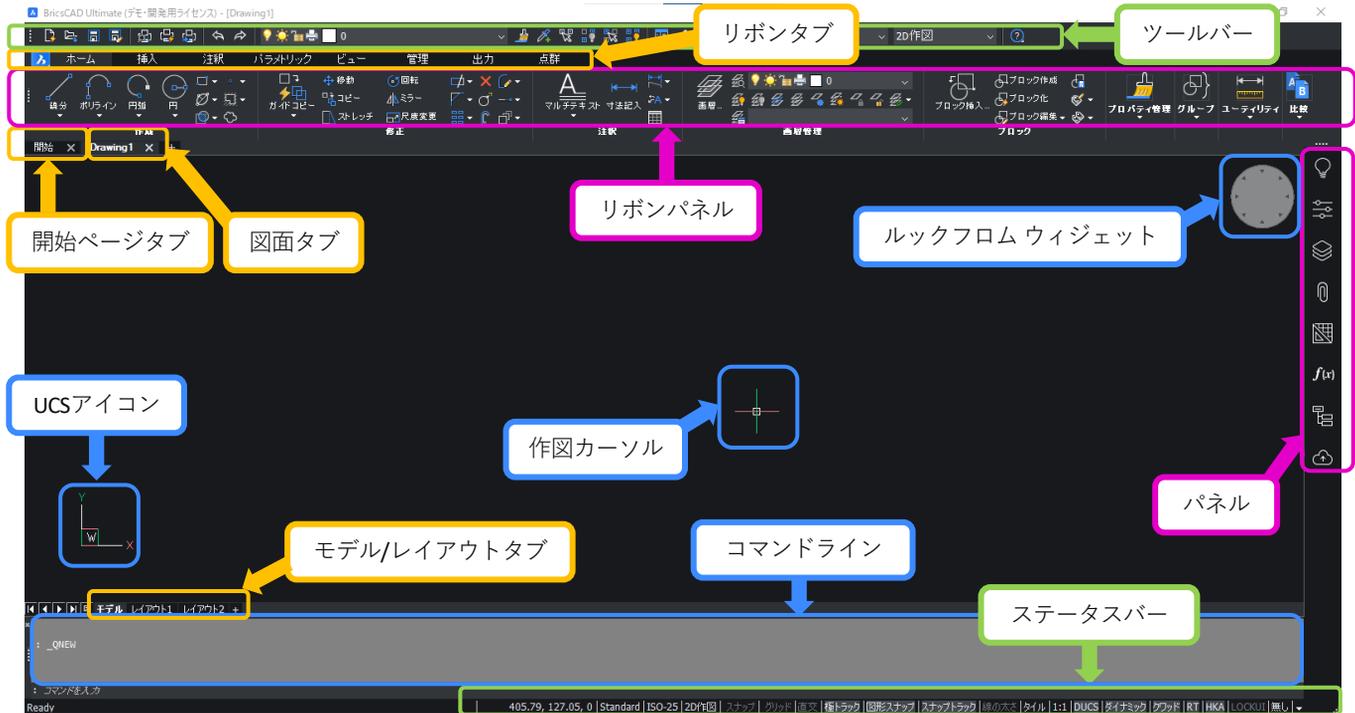
## 新しい図面の作成

「ワークスペース」を選択すると「開始ページ」が表示されます。

「新しい図面」を選択し、ファイルを新規作成します。



# ユーザーインターフェース



## ツールバー

よく使う機能をアイコンから実行できます。また、画層やワークスペース、表示スタイルの切り替えが行えます。

## リボンタブ

作業分類でコマンドのグループを切り替えます。

## リボンパネル

コマンドが機能分類で分けられています。

## 開始ページタブ

最近使用したファイルを素早く開いたり、テンプレートを変更して新しい図面を作成できます。

## 図面タブ

複数の図面ファイルを開いている時に切り替えやファイル操作が行えます。

## ルックフロム ウィジェット

正射投影ビューやアイソメトリックビューなど、数種類のプリセットビューを選択できます。(3Dデータの際に使用します。)

## パネル

プロパティパネルや図層管理パネルなどを表示できます。

## UCSアイコン

UCS(ユーザー座標系)の位置と方向が原点または左下に表示されています。

## 作図カーソル

マウスカーソルのある位置が表示されます。

## モデル/レイアウトタブ

作図するモデル空間と印刷レイアウトを作成するレイアウト空間を切り替えます。

## コマンドライン

コマンドのオプションや実行した内容が表示されます。

## ステータスバー

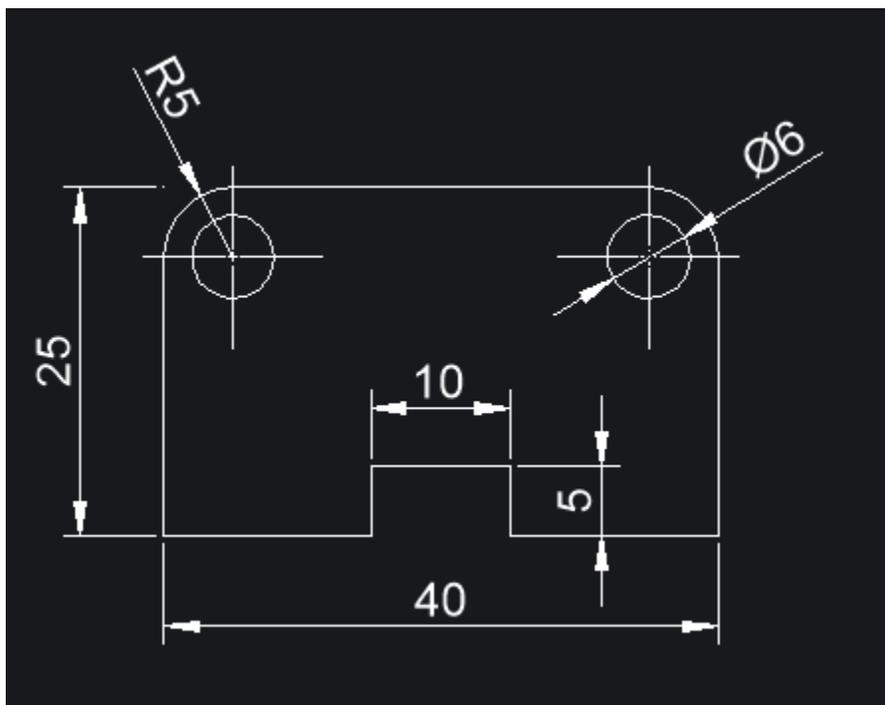
様々な機能の切り替えや現在の状態が表示されます。

## 操作方法

画面を操作する場合、真ん中にホイールのついた3ボタンマウスを使用すると便利です。操作方法は以下の通りです。

画面ズーム(画面をズームイン・ズームアウト)	マウスホイール
画面移動(画面を左右に動かす)	ホイールボタン
オブジェクトの全体表示	ホイールボタンをダブルクリック
コマンド・要素を選択したいとき	左クリック
コマンド・オプションの呼び出し	右クリック
コマンドのキャンセル	Escキー
コマンドを完了する	Enterキー
直前のコマンドを繰り返す	Enterキー
操作を戻す	Ctrlキー + Z
操作をやり直す	Ctrlキー + Y

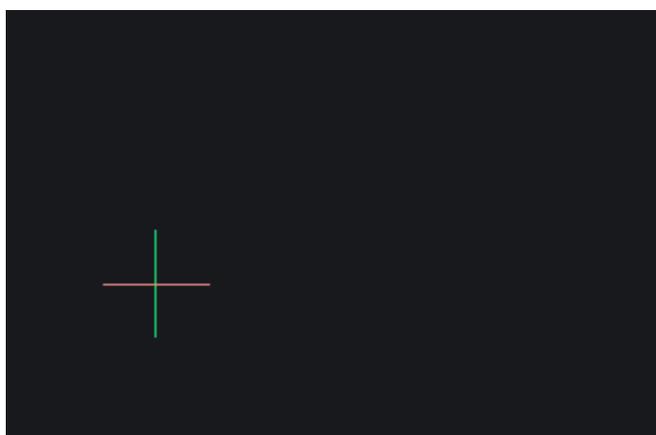
## 作図してみましょう



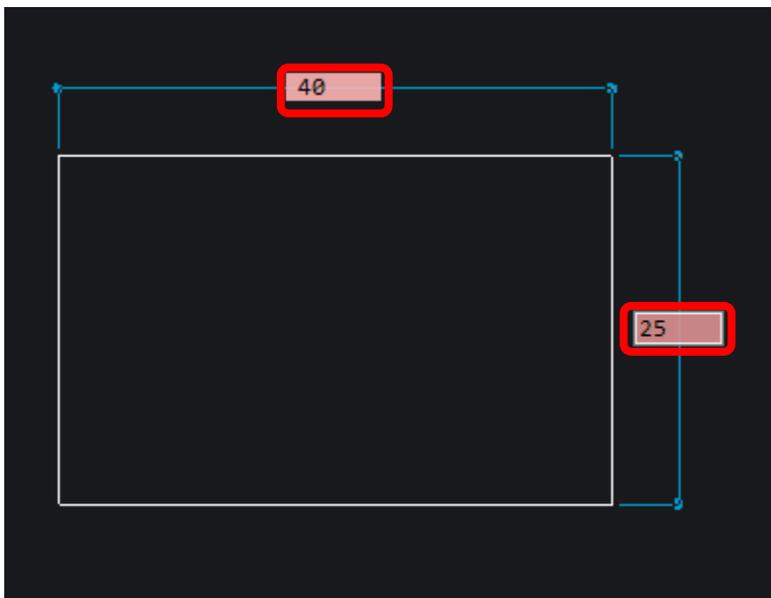
1. 「作成」 - 「長方形」を実行します。



2. 任意の場所を左クリックします。



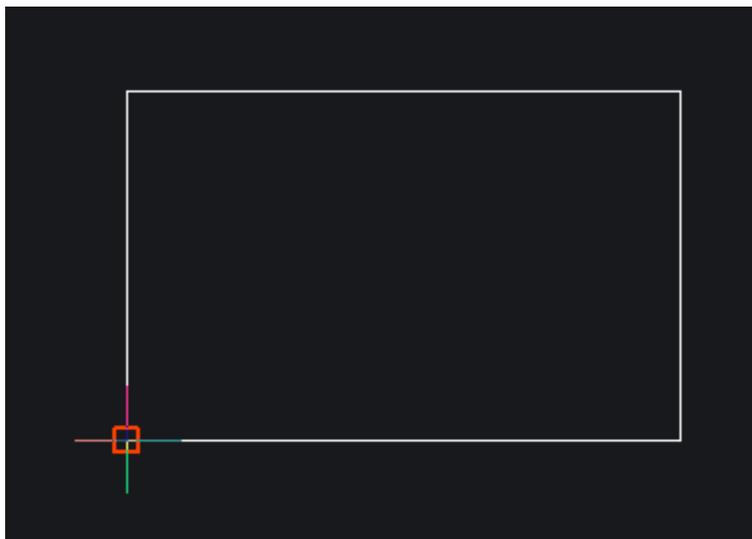
3. カーソルを動かして寸法が表示されたら、マウスから手を放し、キーボードで「40 Tabキー - 25 Enterキー」で長方形を書きます。



4. 再度「作成」 - 「長方形」を実行します。

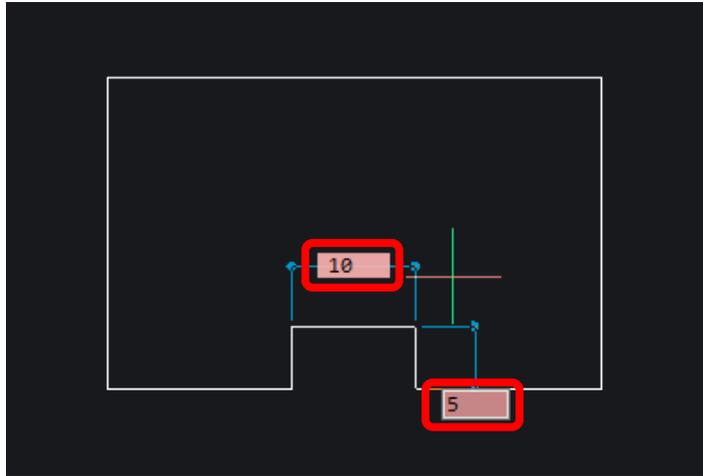


5. 左下の頂点に作図カーソルを重ねて、赤い枠が表示されるのを待ちます。

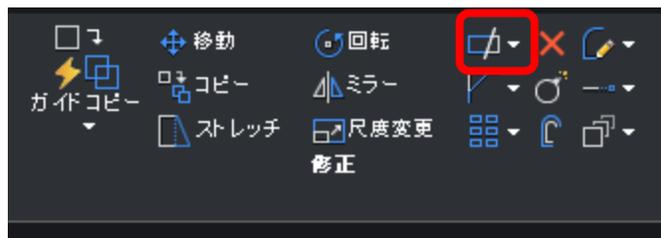




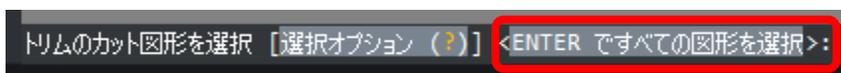
8. カーソルを動かして寸法が表示されたら、マウスから手を放し、キーボードで「10 Tabキー 5 Enterキー」で長方形を書きます。



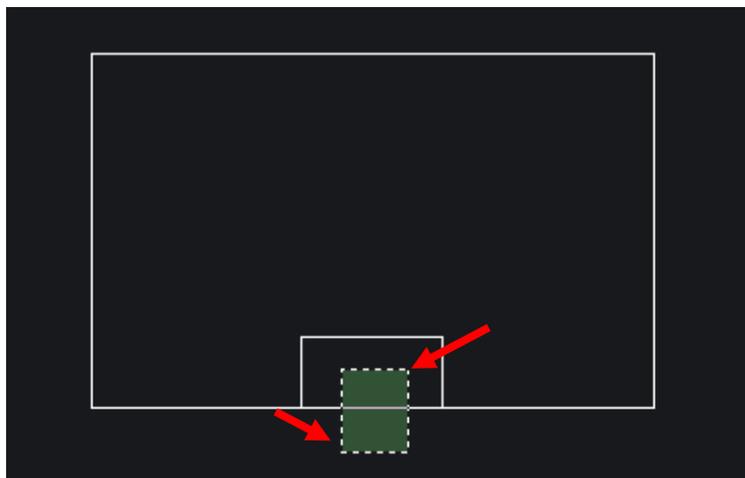
9. 「修正」 - 「トリム」を実行します。



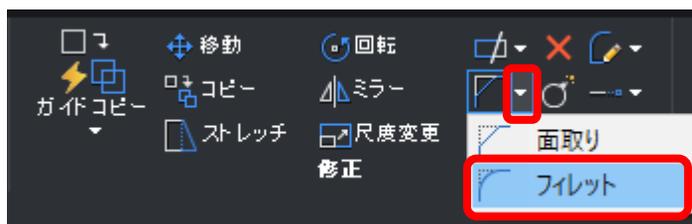
10. 「Enterキー」で「ENTERですべての図形を選択」を選択します。



11. 削除したい線に一部分でも重なる様に、長方形を書くように2点選択すると、緑の長方形に触れた線が削除されます。



12. 「修正」 - 「フィレット」を実行します。



13. コマンドラインから「半径 (R)」を選択します。



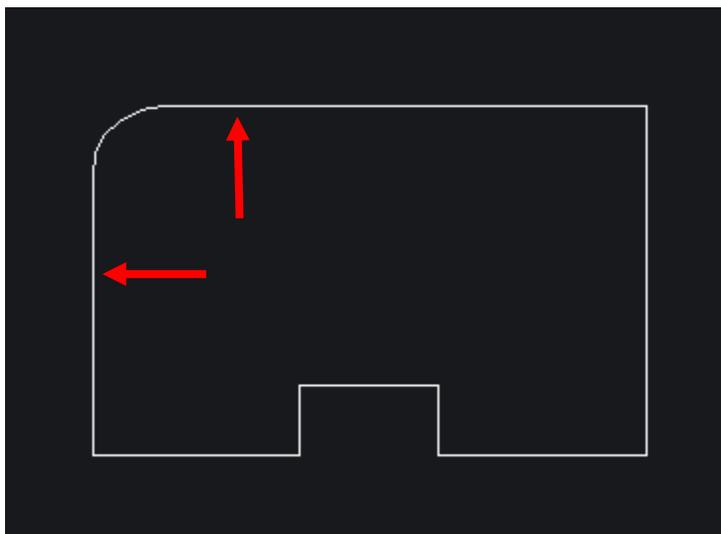
14. コマンドラインでフィレット半径を「5 Enterキー」で設定します。



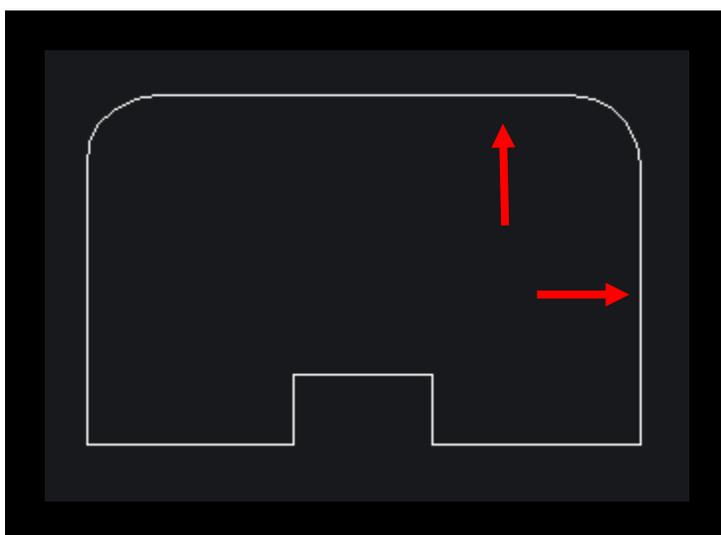
15. コマンドラインから「連続 (M)」を選択します。



16. 2つの線を選択するとフィレットが作成されます。



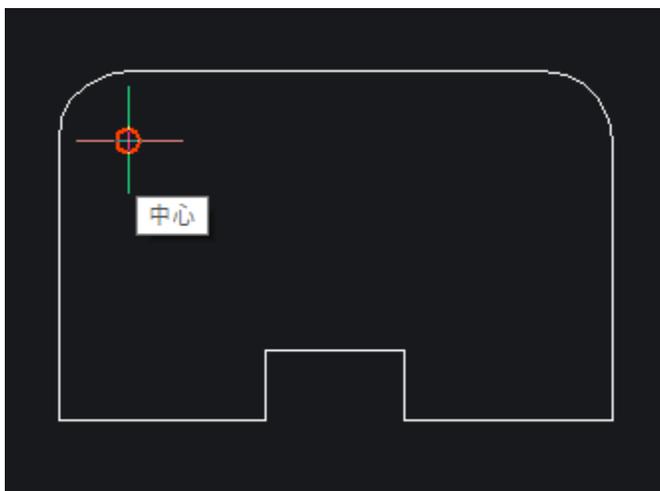
17. 連続して次の2つの線も選択し、フィレットを作成します。



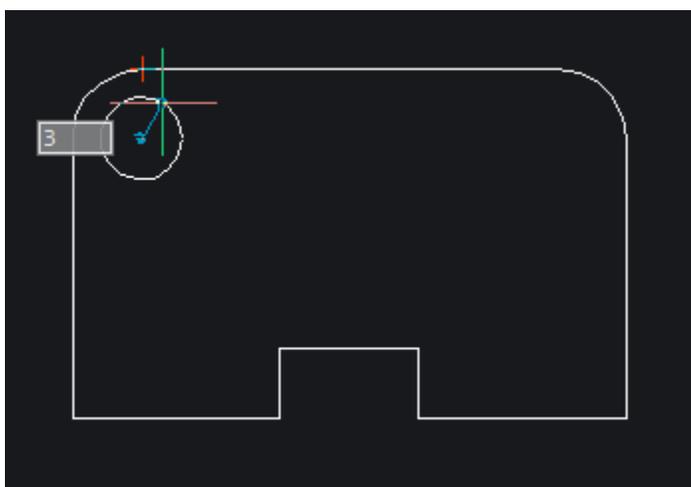
18. 「作成」 - 「円」を実行します。



19. 作図カーソルをフィレットの中心点のそばに持っていくと「中心」を認識します。円の中心点としてフィレットの「中心」を選択します。



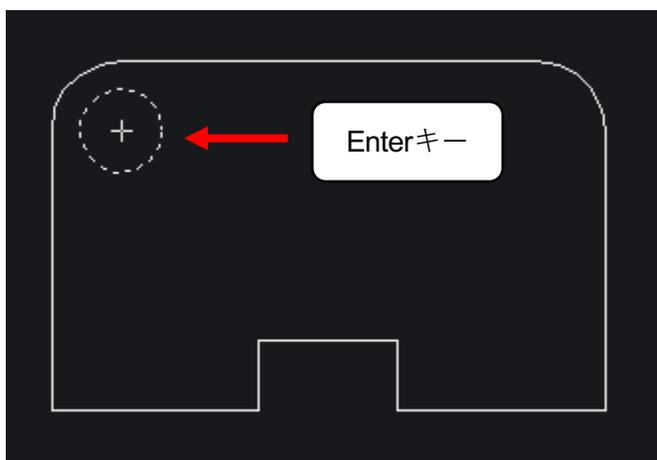
20. カーソルを動かして寸法が表示されたら、マウスから手を放し、キーボードで「3 Enterキー」で半径3mmの円を書きます。



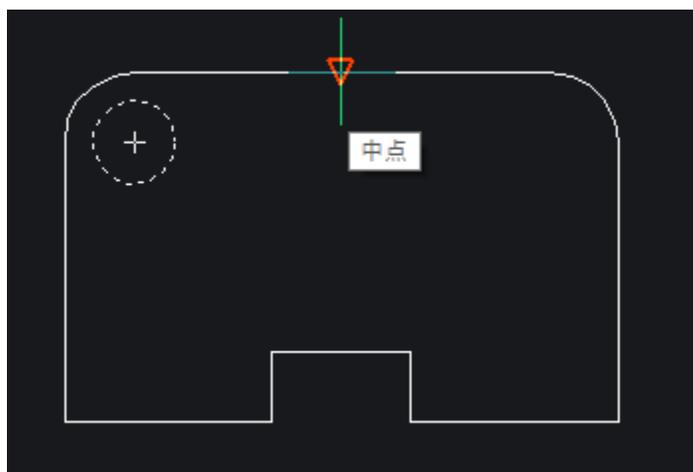
21. 「修正」 - 「ミラー」を実行します。



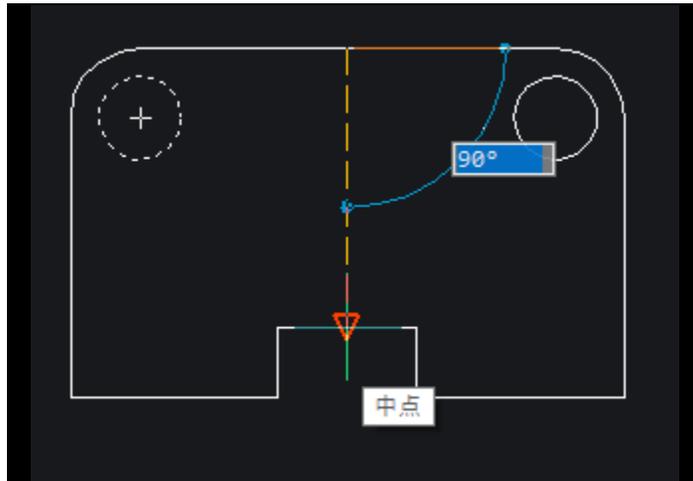
22. ミラーコピーする図形として、先程作成した円を選択して、Enterキーで確定します。



23. ミラー軸の1点目として、上の水平線の中点（赤い逆三角形）を選択します。



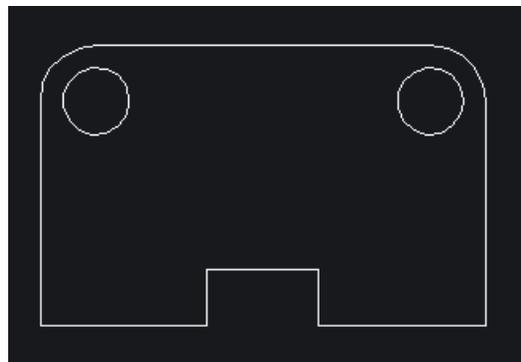
24. ミラー軸の終点として、下の水平線の中点（赤い逆三角形）を選択します。



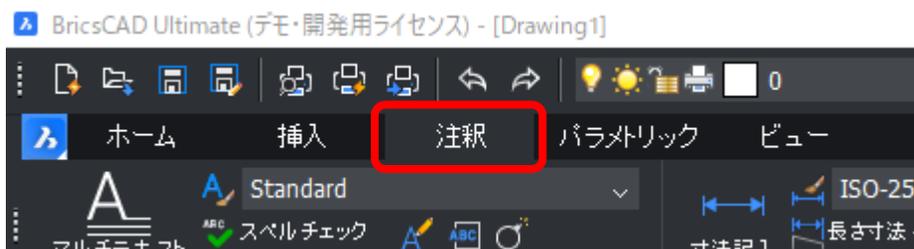
25. 「Enterキー」で「いいえ-図形を保持します (N)」を選択します。



円がコピーされます。



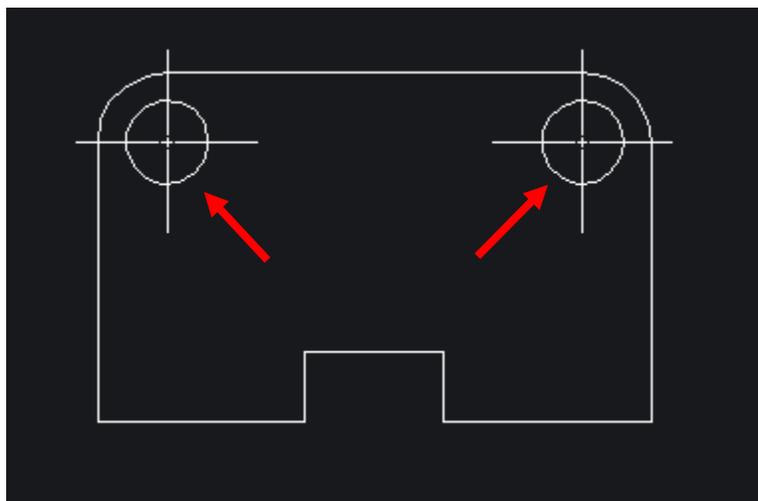
26. 「注釈」タブに切り替えます。



27. 「中心線」 - 「中心マーク」を実行します。



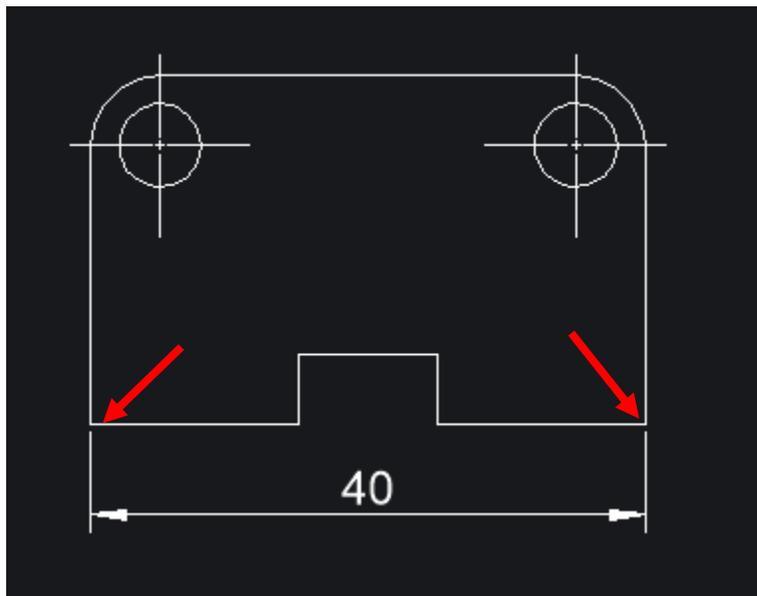
28. 2つの円を選択し、中心マークを作成します。



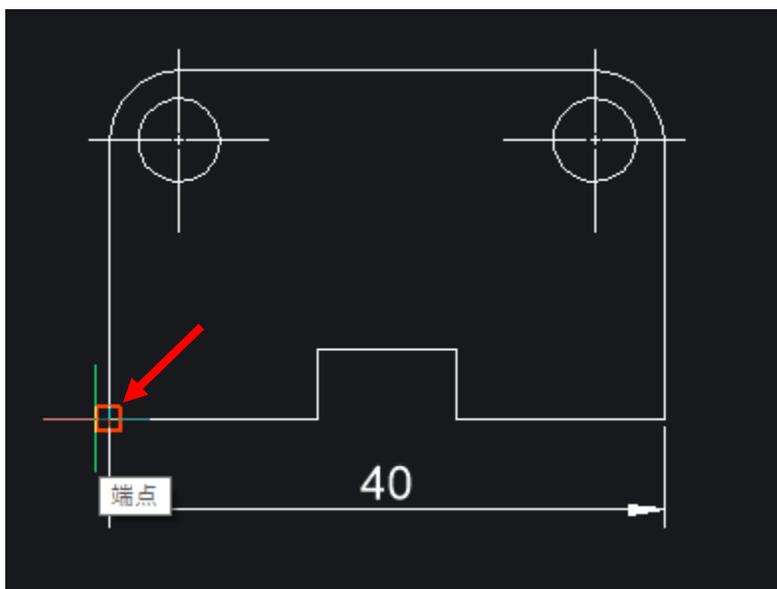
29. 「寸歩記入」 - 「寸法記入」を実行します。



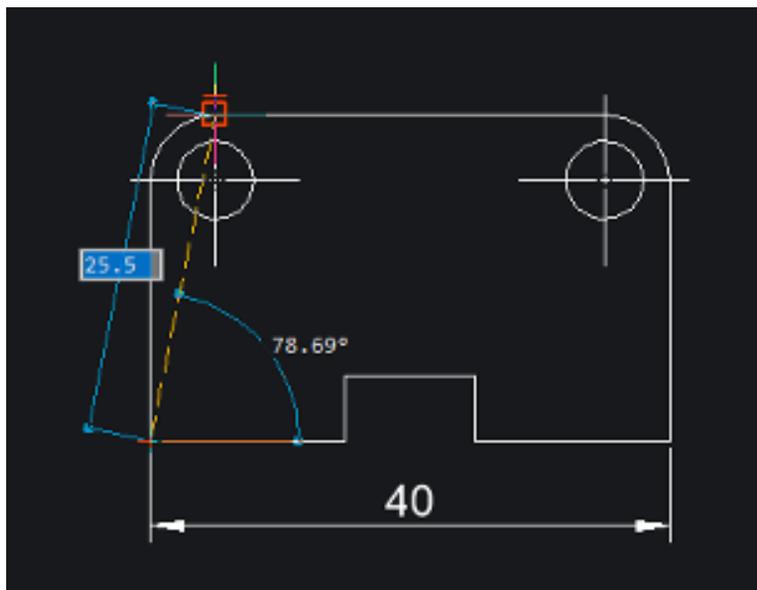
30. 寸法の基準とする2点を選択し、寸法を配置位置を選択します。



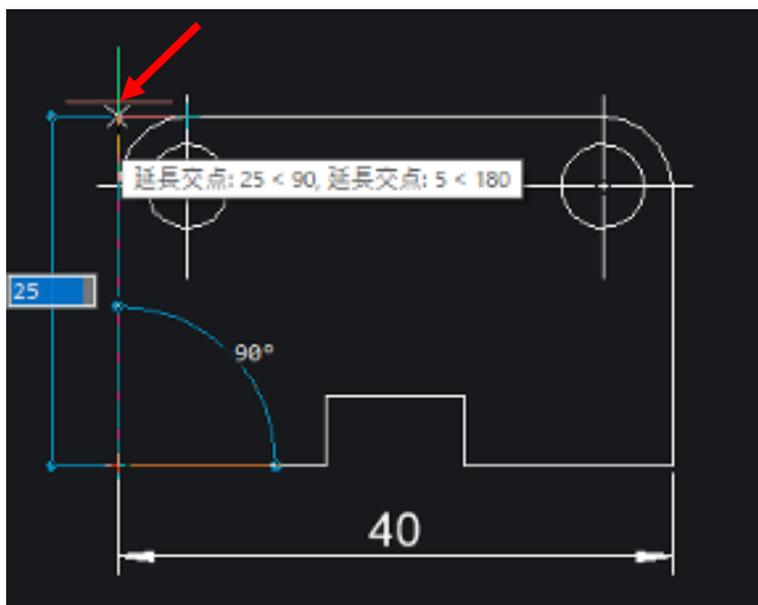
31. 左下の端点を選択します。



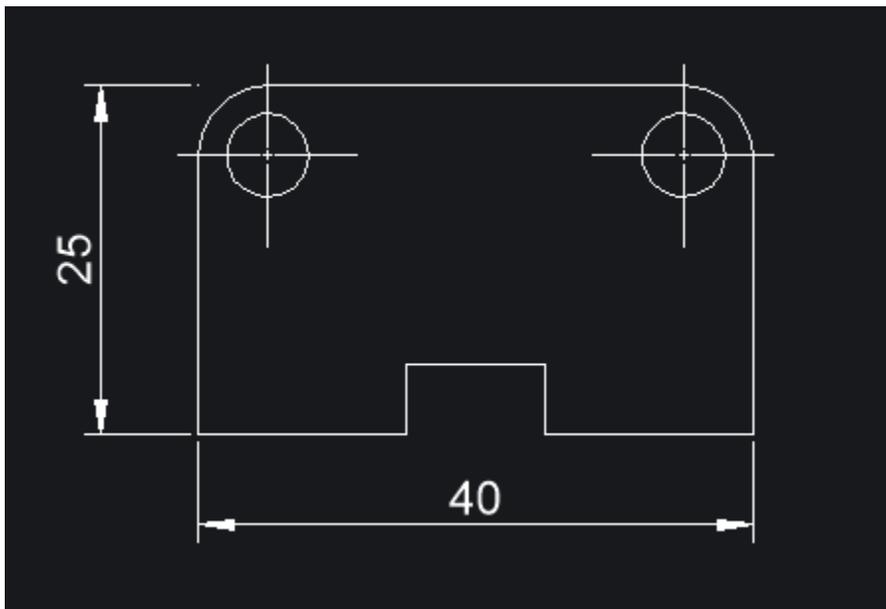
32. 上の水平線の端点に作図カーソルを重ねて、赤い枠が表示されるのを待ちます。



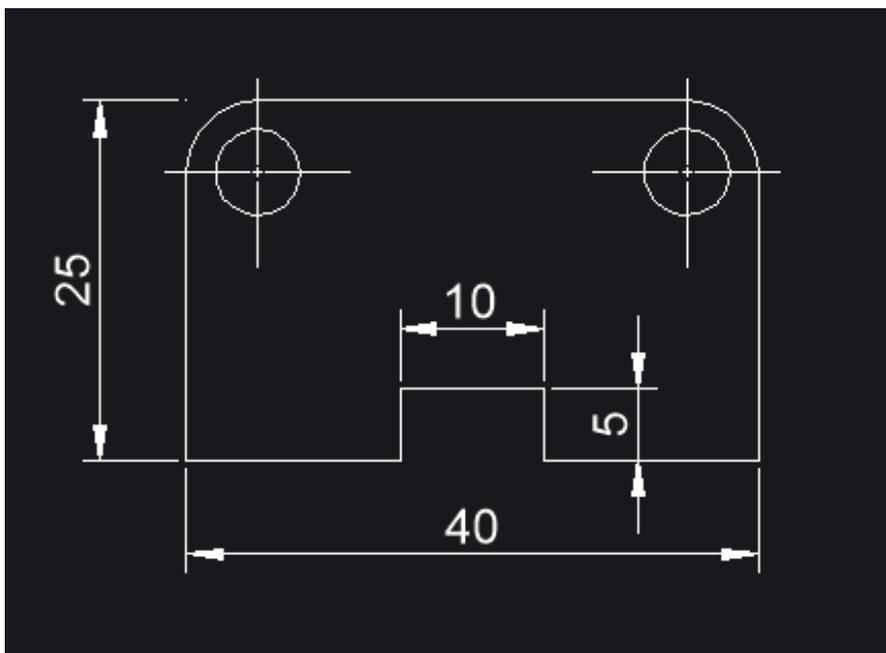
33. 作図カーソルを左に動かし、垂直線のガイドラインとの交点を選択します。



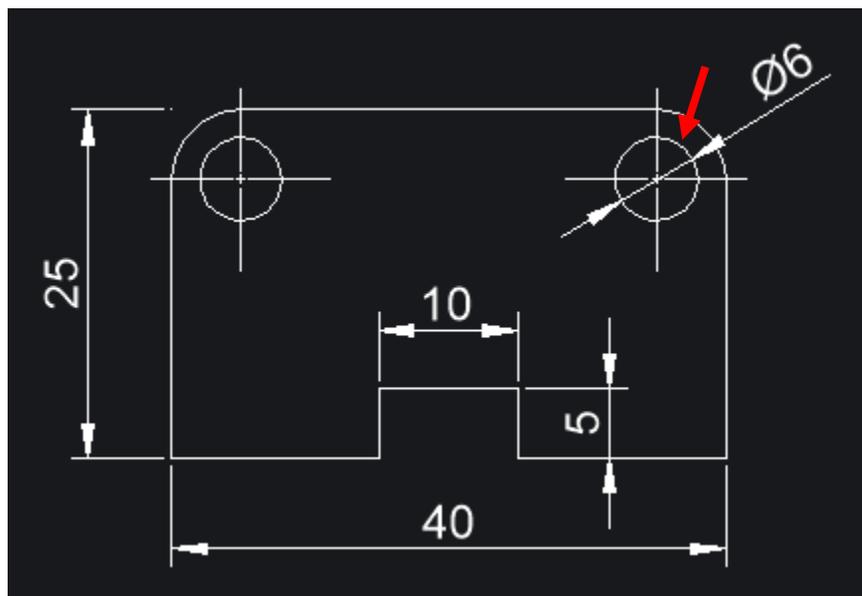
34. 寸法の配置位置を選択します。



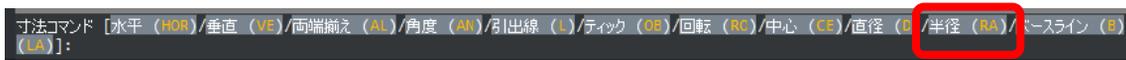
35. 同様に下の切り欠き部分にも寸法を配置します。



36. 円を選択し、直径寸法を配置します。



37. コマンドラインで「半径 (RA)」を選択します。



38. フィレットを選択し、半径寸法を配置して完成です。

